



環状交差点

# ラウンドアバウト

round about

特許出願中 特願 2015-155909



NHKニュース  
取材風景

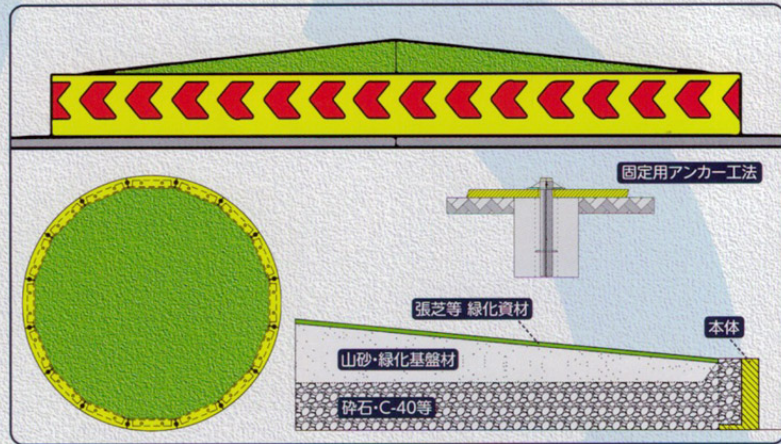


# ラウンドアバウトとは、 平成26年9月より運用が開始された環状交差点

車両の通行する部分が環状の交差点であって、道路標識により車両がその部分を右回り(時計回り)に通行することが指定されているものをいいます。この環状交差点においては、交差点における待ち時間の減少、交通事故の減少等が期待されます。

## 本体の 恒久施設としての 運用

- 中央島の形状・寸法・仕上げ色はすべて自由設計
- 固定方法は、アンカー工法+重力式による二重の安全対策



## 災害時の 信号減灯時での 対応

- 県道・定周期信号交差点を減灯して行った社会実験

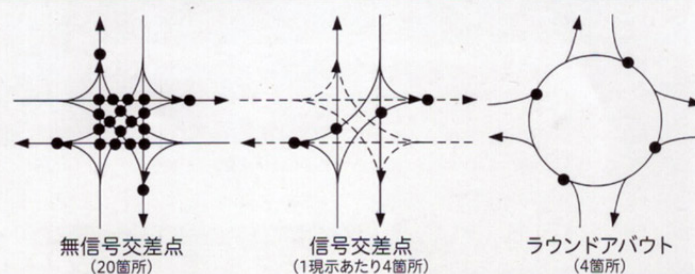


## 仮設交差点を 設営して 一般ドライバー への周知

- 自動車学校教習コースでの走行試験



## 平面交差部 制御方式による 車両間交錯点



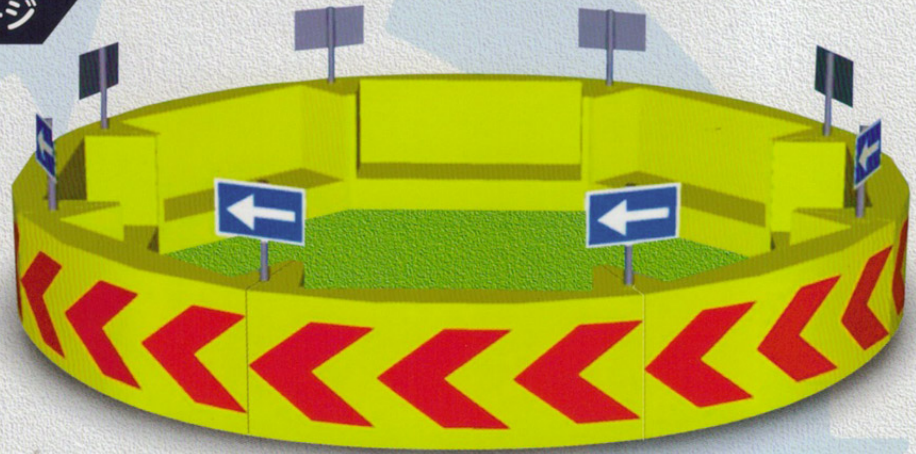
※アメリカにおける報告例



# 災害時、信号灯器の長期減灯に伴う代替措置として 仮設式環状交差点(ラウンドアバウト)を設置

大規模な地震災害時には、信号機の倒壊や長期にわたる信号機減灯により、交通整理が不能状態に至り交通の危機が生じる虞れから、応急の代替措置として仮設式環状交差点(ラウンドアバウト)を設置し、交通の安全と円滑を確保することを目的としています。

## 集合体イメージ



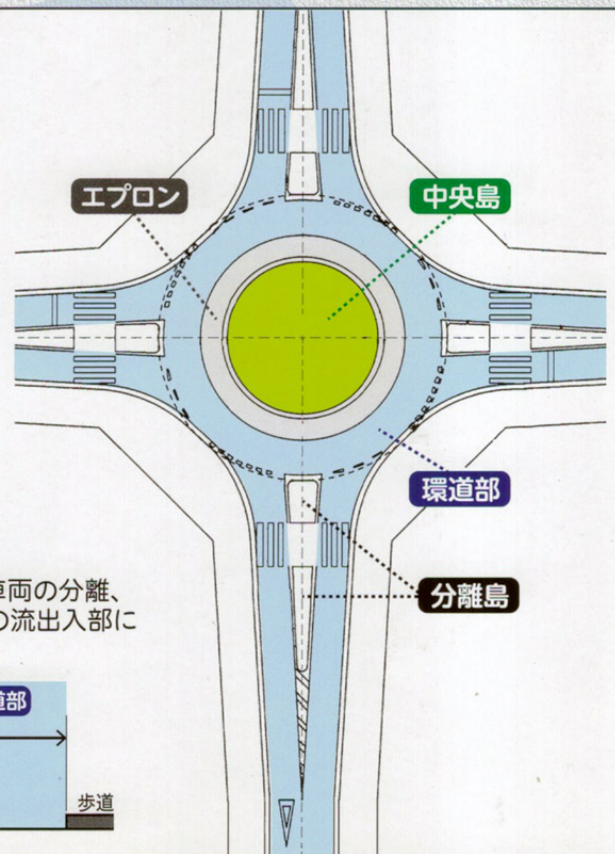
- ①材質  
発泡ポリスチレン樹脂本体に  
T=2.5mmのウレタン樹脂被覆仕上げ
- ②1ピースのサイズ  
H=900・W=800・L=2,320mm
- ③重量  
約30kg(1ピース)  
(②・③は仮寸法の場合)



カプセルプリズム反射材

## 基本構成要素

- ①中央島  
ラウンドアバウトの中央部に設ける  
島状の施設
- ②エプロン  
環道のみでは通行困難な普通自動車又  
はセミトレーラ連結車が通行の用に供  
してもよい部分
- ③環道部  
環道とは、専ら車両の通行の用に供す  
部分のうち、環状を形成している部分
- ④分離島  
分離島とは、環道への流入又は環道から流出する車両の分離、  
横断歩行者の安全性の確保等を行うために、環道の流出入部に  
設ける島状の施設をいう。



## 通行方法

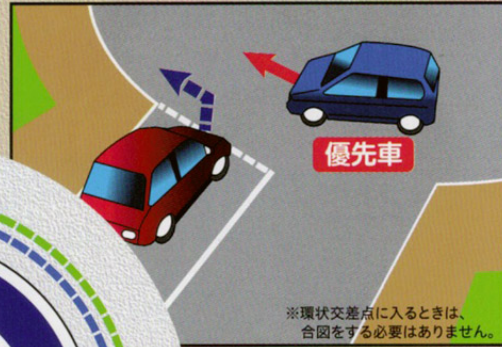
### 環状交差点を通行する時は？

あらかじめできる限り道路の左端に寄り、徐行して進入してください。環状交差点内は、右回り(時計回り)に通行し、できる限り環状交差点の側端の沿って徐行しなければなりません。



### 車両の優先関係は？

環状交差点においては、環状交差点を通行している車両等が優先ですので、交差点内を通行する車両等の進行を妨げてはいけません。



### 歩行者に注意を！



環状交差点に入ろうとするときや、環状交差点内を通行するときは、その環状交差点または直近で道路を横断する歩行者などに特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければなりません。

### 環状交差点を出る時は？



出ようとする地点の直前の出口の側方を通過したとき(環状交差点に入った直後の出口を出る場合には、その環状交差点に入ったとき)に、左側の方向指示器を操作し、交差点を出るまで合図を継続しなければなりません。

## 名阪興業株式会社

本 社 〒 472-0007 愛知県知立市牛田町前田5番地の1  
TEL (0566) 82-8818 FAX (0566) 81-1258  
E-mail: meihan@crocus.ocn.ne.jp  
http://meihankougyou.com/

名古屋支店 〒 464-0833 名古屋市千種区大島町一丁目17番地  
TEL (052) 751-6400 FAX (052) 751-6401